

重森貝崙
追悼

重森三玲

助成：文化庁文化芸術振興費補助金(映画創造活動支援事業)
文化庁 独立行政法人日本芸術文化振興会

ドキュメンタリー

上映会 | 入場無料

2022/06/11(土)

岡山県立美術館2階

13:00 開場

2022/06/12(日)

吉備中央町吉川公民館

8:30 開場

上映作品 / 2本立て

永遠のモダンを庭園に (59分/2019)

石・砂・苔・水 (60分/2022)

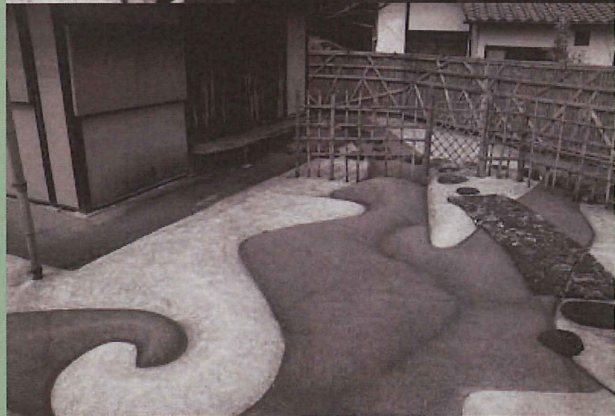
追悼講演

鍵岡正謹氏 / 岡山県立美術館顧問

監督・脚本

重森 ^{ばいろん} 貝崙 (三玲氏の四男)

貝崙氏は、令和2年3月、自身監督・脚本による父親のドキュメント映像の上映会を計画するも、新型コロナウイルスに開催を阻まれました。本年3月、新作の同ドキュメント映像を完成させ、前作との2本立での上映会の準備が整ったその矢先、本年4月に急逝。『岡山市日中友好協会』・『吉川地域づくりの会』では、貝崙氏の想いを継ぎ追悼し、上映会を開催することといたしました。



三玲は言う。『日本庭園は単に自然を模倣し移し変えたものではない。それは日本の自然や景観を抽象化して、その美の本質を造形化したものである。これは創造的営為であり、ゆえに芸術と認められる。たとえば枯山水・龍安寺庭園。おそらく室町時代の作と思われるが、現在でもきわめてモダンである。何百年経とうが、優れた芸術作品は斬新な感覚、すなわちモダンさを発揮し続けているのだ。』

美の求道者重森三玲は、庭園に永遠のモダンの実現を目指したのである。

一般社団法人 中日文化研究所 中国文化叢書 第五号より抜粋

監督・脚本



重森貝崙氏 (文化記録映画監督)

1938年京都市生まれ。当会上映二作品の脚本・監督。三玲氏の四男。
1960年(株)岩波映画製作所入社。演出部に所属し、記録映画を演出する。
代表作に『すいみんーREM 睡眠をめぐる』『中華人民共和国の農業』
『中国の食文化五部作』『病む人なき未来へー大豆が救うアポリジニの生活習慣病』
『乾貨の食文化』『姑蘇繁華圖ー18世紀蘇州の光と影』など。
一般社団法人 中日文化研究所 専務理事。本年4月逝去。

上映プログラム

第一部 「永遠のモダンを庭園に」(59分)

休憩 10分

第二部 「石・砂・苔・水」(60分)

第三部 追悼講演 鍵岡正謹氏

追悼講演 鍵岡正謹氏

1943年、奈良県に生まれる。慶応義塾大学卒業後、平凡社で編集者として『岡倉天心全集』を手掛ける。その後、セゾン美術館(西武美術館)で学芸員となり、学芸部長を経て1993年、高知県立美術館初代館長に就任する。2006年に岡山県立美術館長に就き、現在同館顧問。主な著書に、詩集『鉛島』『中空』。『山脇信徳ー日本のモネと呼ばれた男』など。

上映会詳細

【岡山会場】

日時：2022/06/11(土) 13:00 開場

会場：岡山県立美術館・2階ホール
岡山県岡山市北区天神町8-48

定員：180名/要予約(定員に達し次第締め切り)

鑑賞料金：無料

主催：岡山市日中友好協会・岡山県立美術館

予約申込方法：

下記電話か、メールまたはファックスにて

岡山市日中友好協会事務局(担当：松井)

電話：086-225-5068/FAX:086-225-5041

メール：oknittyu@yahoo.co.jp

【吉備中央町会場】

日時：2022/06/12(日) 8:30 開場

会場：吉備中央町吉川公民館
岡山県加賀郡吉備中央町吉川3930-8

定員：50名/要予約(定員に達し次第締め切り)

鑑賞料金：無料

主催：吉川地域づくりの会・岡山市日中友好協会

協賛：吉備中央町教育委員会

予約申込方法：

下記電話か、ファックスにて

吉備中央町吉川公民館

電話：0866-56-7020/FAX:0866-56-6300

詳細なタイムスケジュールは申込先にお問い合わせください。